

砂名の ベトナムに乾杯

第16回 自由な時間ができ、普段絶対しないことをしてみた

コロナによるロックダウンから一年になる。EMIDAS第8号「アフターコロナ、この三か月を振り返って」に、「22日間だったが。ある意味、こんなに長い期間、自分だけの時間を過ごすことはなかった。一中略—自分の生き方や人とのつながりの大切さについて考えるなど、自分を見つめ直す良い機会ともなった」と書いた。事務作業や新事業の準備など若干の仕事に加えて、Netflix観賞や読書、エクセサイズなど有意義な時間を過ごせた。しかしいつもなら絶対しないことも体験してみたかった。

その一つがスマホでオンラインゲームである。これまでゲームは「時間の無駄」と避けてきたが、本来はゲーム好きである。イタリアのカードゲーム「スコパ」や「ブロックパズルゲーム」「マッチ3」などの無料ゲームをやってみた。「ブロックパズルゲーム」でコンボ(クリア)の瞬間に流れる効果音は、脳内の快感物質の分泌を高めるのか、ロックダウンで店の営業ができない、売上がないという不安とストレスから少しだけ解放してくれた。また100%安全な攻略方法はなく、多少のリスクを取り、犠牲を払うことでクリアできるということや、優先順位を無視すると成功しないということも分かって来た。このあたりはビジネスに通ずる。徐々に難易度が上がり、夢中になり、ベトナムに来て初めて徹夜した。

そしてもう一つ、普段なら絶対しないこ



ロックダウン中も近所の市場は営業していて、そこそこ利用されていた。

とが、「国際ロマンス詐欺師」と付き合ってみる、だった。たまたまFacebookで友だち申請して来た韓国系アメリカ人。LINEに移動し、チャットでのやり取りが始まった。アフガニスタンで軍医をしていて、アメリカで寄宿学校に通う7歳の息子がいる。妻とは5年前に死に別れ、ラホヤ(今、カリフォルニアでもっとも人気の高い高級リゾート地)に家があり、真剣な交際を望んでいると言う。「アフガニスタン、軍医、詐欺」で検索すると、日本人女性が被害に遭い、ナイジェリアの詐欺集団が逮捕されたニュースをはじめ、被害実態がゴロゴロ出て来る。早朝、午前、午後、夜と、一日に4回連絡が来る。なかなかマメだ。バレないと思っているのか、共同通信の戦場写真を送って来たりすることもあった。英語の勉強になるかと思っただが、英語圏でない人が使う英語っぽいのと、時々話が見えなくなるので、複数人で返事しているのだろう。日本人は「言わなくても

分かる」と、言葉や態度での愛情表現が少ないが、英語でのストレートでロマンチックなセリフは勉強になった。「恋愛なんて面倒くさい、仕事の方が面白い! というあなたの考えは間違っている。愛とはもっと崇高で大切なものだ」と、ロマンス詐欺師に説教された。しかしこの考え方は私には新鮮だったし、「愛について」考える機会ともなった。

さて、そろそろお開きにしたいと思い、FacebookとLINEのアカウントをブロック&通報し、念のため日本の「警視庁サイバーセキュリティ対策本部」にも通報した。

ちなみにこのイケメン医師。画像で検索すると、本物はビバリーヒルズの整形外科医である。美しい韓国人女性を妻に持ち、二人でタヒチやパリ、ギリシャでバカンスを楽しむ写真が頻繁にインスタグラムに投稿されている。二人ともフォロワー数が半端ない。それゆえか、彼の写真があちらこちらで悪用されているようだ。



月森砂名(つきもりさな)

奈良県出身。同志社大学卒業。2015年、ベトナム初の角打ち【日本酒で乾杯!】に続き、2020年、Pham Viet Chanhにて日本酒専門の「角打ちのある酒屋」【蔵 KURA】をオープン。経営に携わる。東京で舞台撮影や制作の仕事をする傍ら、作家活動を行う。2009年よりNPO法人Layer Boxにて、日本の伝統文化について、大学、高校、専門学校とともに、PV、3D、CGなどのコンテンツ制作および世界発信を行う。